

そうじの力だより

VOL.233



支援レポート

社員の創意工夫する力は環境整備で培う！
 ↳ 業界トップ企業の健全な危機感

企業用ITサーバーの第三者保守で業界トップのデータライブ(株)の環境整備(整理・整頓・清掃)のお手伝いはじめて六年になります。

ITサーバーは、購入後五年間はメーカーの保守がついていますが、その後も使い続けるためには、不具合時に対応してくれる保守業者と契約を結ぶ必要があります。

企業活動のデジタル化が進む中で、第三者保守の需要は大きく伸びており、その波に乗った同社は現在、急成長しています。

保守業務においてカギとなるのは、保守部品(交換用のサーバー機器類)のストックです。同社は埼玉県久喜市に東京ドームのグラウンドと同じくらいの広さのストックヤードを有し、顧客の要望に応える万全の体制を整えています。

このストックヤードを中心に、同社の環境整備活動は進められています。

実はこのヤードは、約一年前に移転したばかり。旧ヤードの時代から環境整備に取り



絵を取り入れたフォークリフトの駐車ライン

組んでいたのが、その知見を活かして、あらかじめ新ヤードで整理・整頓・清掃に取り組んでいます。

そこで特に力を入れているのが、標準化と統一化です。社員数が二百人を超える中で、「誰でもわかる」「同等以上の質を保てる」ように、工夫を重ねています。

たとえば、事務所の照明とエアコン、換気装置のスイッチについては、どれがどれに対応するのかすぐにわかるように、色分けして表示をしています。パソコンなどの配線にはタグをつけて、どの配線がどこに通じているのかを明示しています。その際、「F(From)どこか」と「T(To)どこへ」という表示をすることで、接続元と接続先が明確にわかるようにし



照明とエアコンのスイッチに色分け表示



配線をF(From)とT(To)でタグ付け

ています。これは、ネットワーク機器を整備する際にやっている手法だそうです。さすが専門家ですね。

それから、看板や標識をすべて統一化するべく、動いています。



ピクトグラム+日本語+英語の標識

「ピクトグラム+日本語+英語」を標準にすることになりました。これは、将来の海外展開もにらんで、国籍や母国語を問わずわかるように、という発想から導き出されたものです。

同様に、フォークリフトの駐車位置を定めるときも、単にラインを引いて言葉で表示するだけでなく、フォークリフトの絵を描いて、視覚的にわかるようにしました。



ヤードの床掃除はお掃除ロボットにお任せ

エリアを自力・人力で掃除するのは賢いやり方ではありません。

環境整備はなにも、すべてを自ら汗水たらしで行うことをよしとするものではありません。外注できるものや機械に任せられるものは任せて、自分たちにはできないことに注力する方が、より実りが多いと考えます。

一方で、社内だけでなく、地域清掃にも積極的に取り組んでいます。こちらは、公共の場だからといって他人任せにせず、自ら行うことで、気づく力を高め、コミュニケーションの活性化を図っているのです。

山田和人社長は、環境整備委員会、以下のように訓示しています。

「これから人手不足を主な原因とする大量倒産時代が来る。つい最近、大手のシステムインテグレーター(開発業者)が同業者を吸収したが、それはプロジェクトマネージャーの人材不足を補いたいという目的があるようだ。」

この厳しい時代を生き抜くのは、社員の「気づく力」と「創意工夫する力」を高めて生産性を上げた企業のみだ。それを学ぶ場が、環境整備だ。

そして、やるからには楽しくやろう。楽しくやらなければ、続かないし、良い活動にはならない。」

国内では圧倒的なシェアを誇る同社ですが、トップがこうした健全な危機感を持っている限り、まだまだ成長は続いていることでしょう。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

茶室とそうじ

〜整理・整頓・清掃の極意は茶道に学ぶ〜

先日、ある勉強会で、茶道裏千家の准教授である女性とご一緒し、そこで興味深いことをお聞きしました。

参加者が一通り自己紹介した後の休憩時間に、その方が私のところに来られて、以下のような趣旨のことをお話しされたのです。

「私は以前は片づけがとて苦手で、家の中もグチャグチャでした。

でも、茶道を習うようになってから、以前ほど苦手ではなくなり、どうにか片づけができるようになってきました。

というのも、茶室においては、まず、無駄なものが一切ありません。対して自宅には、使ってもいないようなものがたくさんあります。だから、そうした無駄なものを捨てればいいのかと気づきました。



そして、茶室で必要なものは、すべて、置く位置が定められています。しまふ場所と使う場所が、きちんと決められています。だから、家でも、モノをしまふ場所をきちんと決めればいいのかと理解できました。

さらに、茶室の庭は常に掃き清められ、室内は常に拭き清められています。清浄な空間があるからこそ、茶の湯において重要視されている「心の落ち着きや」と思います。

必要なもの、つまり使うものを、使いやすいように定位置を定めることを、「整頓」と言います。

無駄なものをなくし、使わななものを捨てることを、「整理」と言います。



私には少し噛み砕いていますが、だいたい、このような内容でした。

なるほど、と深くうなずかずにはいられません。

私は茶道にはまったく詳しくありませんが、そこには環境整備の三要素である「整理・整頓・清掃」が、そのまま凝縮されています。

この三要素を実践することで、空間が清浄に保たれ、そこで活動する我われ人間の気持ちが落ち着き、明るく前向きになり、頭の中がクリアになって、物事がうまく進むようになるのです。

機会があれば、茶道を体験してみたいと思います。

(小早)

編集後記

継続は力なり

昨年に引き続き、ぐんまマラソンの10kmコースに参加し、目標だった1時間を切り、57分13秒でゴールすることができました。昨年よりも50秒、記録短縮できました。

もともと走るのが苦手で、以前は絶対にこのようなことはしなかったのですが、昨年の春ごろからあるきっかけでジョギングするようになり、ゆっくりとですが、走る習慣がついてきました。

人間、苦手なことでも、続ければそれなりにできるようになるものですね。

(小早)



飛鳥のつばやき

ひとりのできるもん

小学生料理教室に行きました。

ピザを生地から作って焼くようで、親も食べる気&やる気満々で装備をキメて行ったのですが、先生の調理デモを見終わったところで、「お父さんお母さんは退場してください」コールが(親の分は無かった…(^q^))。

1年生大丈夫か…？とハラハラしながら見守っていましたが、最後まで楽しそうに参加していました。

親の手から本当に離れてきたなあ〜。(大概)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝整理・整頓」を通

じた「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！